

南山大学図書館報

DYNAMIS

～デュナミス～

No.38 2000.10.1

図書館での過ごし方

薫 祥哲

米国において大学学部と大学院時代を過ごした私にとって、図書館といえば色々な思い出がある。学部時代は学生数1400人の小さなリベラルアーツ大学で、ほとんどの学生がキャンパスの寮に住んでいた。私もルームメイトと寮に住んでいたため、もっぱら図書館で勉強した。

教科書を持ちこんで、授業やテストの勉強をする場所というのが私にとっての図書館であった。通常は夜中の12時まで開館していたが、テスト期間中は開館時間がさらに延長されるので、寮の部屋へ帰るのが午前2時頃だったこともある。

とにかく英語の教科書を読むのに時間がかった。大切と思われる部分に下線を引いていると、知らない間にページが赤の下線だらけになってしまった。テスト前に下線の部分だけはまだ一度読み返そうと考え、更に下線を引いていると、ページ全体に下線が引かれてしまったこともある。ほとんどの授業が20～40人の小人数クラスだったので、学生同士が顔見知りになり、先生も学生を覚えていてくれた。そのおかげで、図書館内を見渡せば必ず同じクラスの学生を見つける事ができ、解らない所を尋ねることもできた。また、日本人留学生は大学内に数人しかいなかったのだから、先生に多少は採点で配慮してもらえたのかも知れない。

大学院では学生数9500人の中規模大学へ移り、キャンパスの外にアパートを借りて住んでいたため、自宅で勉強する事が多くなった。今度の図書館は、学部時代とは比べ物にならない

くらい充実していた。全キャンパスで各スクールごとに図書館が分かれていて、全部で8つくらい図書館があったように記憶している。私が使っていたのは、社会科学系のメイン図書館で、もっぱら学術専門雑誌のお世話になった。

幾つかの主要な雑誌を見て、自分の研究と関連のある論文を読むことが主な勉強であった。

また、図書館には先生が授業で使用する本や論文のコピーが、授業科目ごとに整理されて置いてあったので、それらの教材も読まなければならなかった。本と違い、学術雑誌や授業科目ごとの教材は図書館から借り出すことができなかったのだから、ひたすらコピーを取った。図書館内で読み切れない量であったし、テスト勉強などのためにも、手元に自分のコピーが欲しかった。5年間の大学院時代をトータルすると、膨大な量のコピーであったことは言うまでもない。大学院での図書館の開館時間であるが、テスト期間中は24時間開館していたように思う。

開館時間の長さから、米国の学生がいかに良く勉強するのがわかる。

私にとって学部と大学院を通して、図書館は勉強したり論文のコピーを取ったりする場所で、かなりの時間をそこで過ごした。今、その時の本や論文を開いてみると、赤の下線がいっぱいに引かれてあるページや、欄外に所狭しと自分のメモが書かれたページに出くわす。これらの1ページ、1ページから、あの時に図書館で過ごしたころの記憶が懐かしく思い起こされる。

(Yoshiaki KAORU:経営学部助教授)

南山大学図書館 秋の企画展

「*Music from Christianity*」

～教会音楽の2000年～

期間 : 2000年10月30日(月)～11月11日(土)

時間 : 9:00～18:00
(但し11/3～5、11/11は16:30迄)

会場 : 名古屋図書館 1階 会議室

※11月3日(祝)、11月5日(日)は図書館は休館となりますが、企画展のみ入場出来ます。

教会音楽を彩ったクラシックの巨匠達
ジャズもロックもヒップホップも
ルーツをたどれば教会音楽
みんなが知っているあの曲も聖歌からのメッセージ

特別講演

「*バッハの音楽と宗教*」

～音楽を通して信仰を伝える～

講師 ウォルター・ダンフィー (人文学部キリスト教学科教授)

期日 : 11月7日(火) 14:40～

会場 : 名古屋図書館 1階 会議室

…街角に流れる様々な音楽も
キリスト教2000年の歴史からの贈りもの…
一度、のぞいてみませんか？

図書館と私

大橋直仁

3月までは人類学科（現人類文化学科）の学生だった。4月からは職員になった。春の桜も夏の蝉の声も5年目だ。見慣れたはずの景色も職員という立場から見ると少し違うような気がする。私は今、南山大学図書館員として生きている。

学生時代はボールを追いかけて4年間で過ぎていった。今日もラクロス、明日もラクロス。いまだ流行らない部活動、チームの中の一員、勝つための努力…。炎天下に自分の身を置き、虐げられる肉体に生きていることを実感し、チームの勝利に無上の喜びを感じた4年間は、誰よりも充実した学生生活だった。そして、ラクロス部と体育会本部員の活動から南山への愛着が生まれ、職員を目指した結果、課外活動漬けの生き様が認められたのか職員としての私の姿が図書館1階にある。

ラクロスにエネルギーと存在の価値を注ぎ込んだ私にとって、勉強、研究その他学術的な響きのある言葉はまったく興味の範疇外にあるところだった。グラウンドとクラブハウスと第三食堂が生活スペースで、あまりにも体育会系の風体をしている私には図書館は非常に似つかわしくない空間だった。とはいえ、学生として存在しているからにはテスト、論文からは逃れられない。テストが近くなる、あるいはレポートの提出が迫れば決まって図書館に足を運んだものだった。特に卒業論文と単位取得の崖っぷちに立たされた4年生後期はあたかも救いを求めるかのように図書館に駆け込んだ。一応考古学を専攻していたので地下1階の歴史関係の本が並ぶ棚の近くの席に腰掛け、時間に追われながら勉

強をしていた。時にはあきらめて机に突っ伏して眠ったり、時には資料を探して書庫をさまよったり、またある時には館内を回って知った顔をさがし、テストの情報とノートを提供してもらったり…。普通、図書館というのはゆっくりゆったり本を読み勉強する場所のはずなのに、私は時間に追われ留年の恐怖におびえ、何かあくせくと勉強をした場所として記憶している。

そんな自分が今図書館員をしている。利用者に快適な図書館を提供する側にいる。学生時代ロクな使い方をしていない自分が図書館の有効な使い方をレクチャーする。なじみの場所だった地下1階の歴史の棚がいっぱいなので、本を移動して解消する自分がある。学生のとき一度も尋ねたことがなかったレファレンスカウンター、今はその向こう側に、レファレンスを行う側として座っている。相変わらず図書館に似合わない風体だが、図書館員として生きている。

ひとつ思うことは、今図書館員として身につけた有効な図書館の使い方を少しでも知っていれば、もっとましな卒論が書けたのではないか、少しは勉強に興味を持ったのではないかということである。皆さんの中には私と同じようにあまり勉強に興味がない方がいるかもしれない。また、有効な図書館の使い方をあまり知らない方がいるかもしれない。そんな方のためにもレファレンスカウンターがあり、時々私が座っている。どうぞいつでも気軽に尋ねてきてください。私は自分なりに一生懸命対応し、皆さんの勉強に少しでも力になればいいなと思っているので…。

(Naohito OHASHI：閲覧・参考係)

資料紹介

今年度、購入したもののの中から2点紹介します。

C Comparative Political Studies

Vols.1-29 (1868-1996)

Sage Publications

請求番号[Z/310L/C85/v.-]瀬戸図書館

この雑誌は比較政治の研究者・学生を対象にしたもので、世界中の革新的な比較方法論、学説、分析を取り扱っています。これらの論文は、グローバルな視点で、また内容の濃いものを読者に提供するために、徹底的な調査をもとに書かれています。

例えば、第三世界の民主主義から中東の民間軍事関係、東ヨーロッパの選挙制度からラテンアメリカにおける経済効果、北米・西ヨーロッパの政治保護比較からアジア国家間の衝突に至るまで、各国政策の発展を慎重に分析した上で、豊富なデータを提供し、比較政治学の分野において、本誌は常に先頭に立ってきました。

その他にも、ヨーロッパ統合、地域流通、ヨーロッパ通貨対策、労働市場、取引契約規則、政党戦略、平和運動、選挙制度、生産戦略、人権など、取り扱われるテーマが非常に幅広いのも、この雑誌の特徴です。また、この比較政治研究分野で大きな影響力をもつ書物等の評論も載せており、信頼性が高く、政治学研究には欠かせないトップレベルの学術誌といわれています。

本学では、すでに、瀬戸図書館に1997年から今日までの“Comparative Political Studies” (v.30~33) を所蔵していますが、特に貴重な資料であるため、今回のバックナンバー購入に至り、全巻揃うこととなりました。

Zeitschrift für Soziologie

Vols.1-28 (1972-1999)

Universität Bielefeld, Fakultät für Soziologie

Ferdinand Euke Verlag

請求番号[発注中]

1971年、あらゆる社会学者のために、社会学全般を実際的に説明するドイツ語圏の機関雑誌として創刊されたのが、この“Zeitschrift für Soziologie”です。現在では、様々な分野をカバーするドイツの代表的な社会学雑誌となっています。

社会学の各分野から寄稿された論文がまとめられています。学生を対象にした一般的な関心事から研究者のための専門的な知識や分析まで、非常に多様性に富んだ内容が提供されています。

また、その他の大きな特徴としては、現存の制度に固執する社会学雑誌や編集者の好みに偏った雑誌とは異なり、あくまでも中立的な雑誌であることです。

発行地はドイツのビーレフェルト大学となっていますが、実際は特定の地域枠を超えた様々な出身地の責任者からなる編集委員会に委ねられているため、特にヨーロッパ社会学に携わる人々にとって、重要な資料といえるでしょう。

(Yuko AOYAMA:整理係 青山 祐子)

南山大学図書館に所蔵されている本や雑誌、
CD-ROMなどのうち“知ってよかった！”
そんな資料を取り上げて紹介するコーナーです。

判例MASTER … CD-ROM 版検索システム

判例 MASTER とは

裁判所法施行(1947(昭和22)年)以降に公刊された国内の主要な法律雑誌(公式判例集及び一般雑誌)をデータベース化し、判例情報や審級関係をたどることができる判例検索システムです。

約93,000判例の書誌情報と要約(判示事項)の他、最高裁判例などの重要判例には、主文と理由の全文が収録されています。図書館ホームページから検索できます。

収録文献一覧

●最高裁判所(民事)判例集●最高裁判所(刑事)判例集●高等裁判所民事判例集●高等裁判所刑事判例集●下級裁判所民事裁判例集●下級裁判所刑事裁判例集●行政事件裁判例集●刑事裁判月報●労働関係民事裁判例集●家庭裁判月報●無体財産権関係民事・行政裁判例集●東京高等裁判所判例時報(民事)●東京高等裁判所判例時報(刑事)●裁判所時報●訟務月報●高等裁判所刑事裁判速報集●判例時報●判例タイムズ●金融法務事情●金融商事判例●交通事故民事裁判例集●ジュリスト●商事法務●NBL●判例地方自治●審決取消訴訟判決集●特許と企業●最高裁判所裁判集●最高裁判所判例解説●法曹時報●法学協会雑誌●法律時報●民商法雑誌●警察研究●警察学論集●判例評論(判例時報付録)

【注意】①判例データの判示事項は出典が公的判例集及び特に許諾を得た一般雑誌以外は、独自の要約となっているため、原文の表現とは異なる場合があります。

②「審決取消訴訟判決集」及び「特許と企業」については、「判例特許・実用新案法」(新日本法規出版)に掲載された判例のみを対象としています。

③「最高裁判所裁判集」は、「最高裁判所裁判集要旨集」(最高裁判所判例調査会)に掲載された判例の判示事項・判例要旨を対象としています。

ここが便利

1. 収録範囲が広がった

判例を探すデータベースとして図書館ホームページから検索可能な『法律判例文献情報CD-ROM版』がありますが、これは1982年以降に出版された判例集や雑誌に掲載されたものしか探せないという難点がありました。それが1947年以降に広がりました。

2. 検索モレが少ない

キーワードは、実際に判例の中で使われている用語を中心に作成されており、入力されたキーワードのほかに、同意語・類似語やシソーラス機能が装備されているため、関連情報までもれなく検索ができます。

3. 関連判例を追跡できる

審級関係や関連判例・引用判例などを幅広くたどることができます。

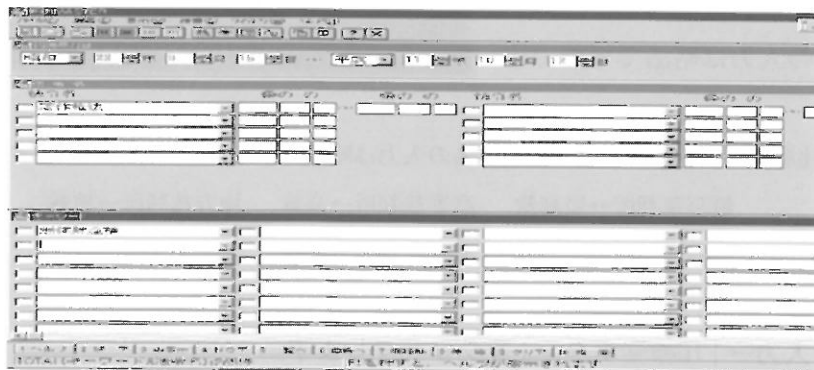
4. 検索結果の印刷・ダウンロードが可能

検索された書誌情報・判例要旨と全文を印刷・ダウンロードできます。

検索してみましょう

1. 図書館ホームページの「検索／リンク集」から入り、「判例 MASTER」を選択します。
2. メニューバーの「検索(S)」をクリックする。
「複合検索(F)」か「日付検索(D)」のいずれかを選択してください。

複合検索



●検索条件の指定

ウインドウの上段から順に「判決年月日」「法令名」「キーワード」を入力できるようになっています。これらの条件を複合して指定すると、AND 条件で検索できます。

1) 判決期間からの検索

最初は収録範囲の最古のものから最新の日付が表示されているので、任意に変更してください。

2) 法令名からの検索

法令条数の範囲指定：「法令名入力欄」の最上段では、条数の範囲指定ができます。
条数は省略可能です。

項・号を指定した検索：「法令名入力欄」に法令名と条数の指定を行ったあと「キーワード入力欄」に次のように入力します。

例) 1項・・・イッコウ、1項3号2・・・イッコウサンゴウニ

3) キーワード検索

初めは緩やかな条件で指定するとよいでしょう。迷ったらまず特徴を1語だけ指定してみてください。裁判所の審級や地名を掛け合せて絞り込むことも可能です。

入力方法

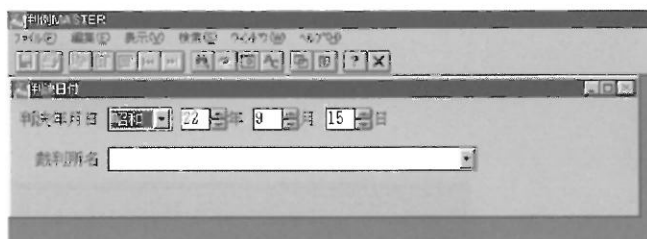
文字入力
 半角カナで入力→リターン(Enter)キー押下→漢字変換→次の入力項目にカーソルを移動。

検索条件入力方法
 法令名やキーワードの検索条件は以下のように入力します。
 AND条件：入力欄に縦に入力してください。
 OR条件：入力欄に横に入力してください。
 NOT条件：チェックボックスをクリックすると指定できます。もう一度チェックボックスをクリックすると、解除されます。

判決日付検索

●検索条件の指定

- 1) 判決年月日からの検索
 判決年月日を入力します。
- 2) 裁判所名からの検索
 裁判所名の入力は略語で可能です。



【注意】 判例 MASTER の裁判所名の入力は略語による入力になっています。

最高裁判所→最高裁 高等裁判所→高裁 地方裁判所→地裁
 簡易裁判所→簡裁 家庭裁判所→家裁

3. 検索条件を入力→「10検索ボタン」をクリックします。
 (F10キーか「検索(S)」でも可)
4. 該当判例一覧の表示
 検索後、「複合検索」または「判決日検索ウインドウ」の **5 一覧へ** (または **一覧へ(I)**) ボタンをクリックすると「該当判例一覧ウインドウ」が表示されます。
5. 判例要旨の表示と印刷
 「該当判例一覧」から選択した判例要旨を表示するには **6 要旨へ** (**要旨へ(Y)** も可) ボタンをクリックします。印刷は二通りです。
 単印刷：表示された判例要旨を一件ごとに印刷する方法
 複数印刷：「該当判例一覧」から複数判例を選択して連続印刷する方法
6. 全文の表示と印刷
 「判例要旨ウインドウ」で表示した判例に全文情報がある場合、**全文(A)** ボタンをクリックすると、全文が表示されます。ここで、ファイルメニューの「印刷」を選ぶと、判例1件ごと全文が印刷されます。

(Mitsuka YAMABE：閲覧・参考係 山辺美津香)

名古屋図書館 ↔ 瀬戸図書館

活用しよう！資料の「取寄」

名古屋図書館と瀬戸図書館の間では、それぞれの図書館が所蔵している資料を、利用者が所属するキャンパスに「取寄」し、閲覧・貸出することができます。他のキャンパスの資料だから使えないと諦めず、どんどん利用してください。

「取寄」って誰でもできるの？

→「取寄」が可能な人は教職員・大学院生・学部学生・別科生・非常勤講師・学園職員・臨時職員です。ただし、資料によっては「取寄」できないものもあります。

どんな資料が「取寄」できるの？

→原則として館外貸出が可能な資料を「取寄」できます。ただし、資料によっては「取寄」できないこともありますので、詳細はカウンターにお尋ねください。

- ・『指定図書』『参考図書』『貴重書』はキャンパス間での「取寄」はできません。
- ・教職員・大学院生以外の方は『雑誌』の「取寄」はできません。直接、他キャンパスに向いて利用してください。ただし、必要な記事や文献が特定できる場合は、所属するキャンパスの図書館レファレンスカウンターを通じて、コピーを入手することができます。
(有料：1枚10円)
- ・名古屋キャンパスの各研究所・センター、南山短期大学、神学院の所蔵資料は「取寄」できません。直接、出向いて利用してください。(瀬戸キャンパス所属の利用者は、瀬戸図書館レファレンスカウンターにご相談ください。)

どうやって「取寄」するの？

→図書館内に設置してある GEMMA - II の端末から「取寄」の操作ができます。〈結果一覧〉で〈所在〉を確認して〈所蔵データ〉をクリックすると〈取寄〉ボタンのマスクが外れます。〈取寄〉ボタンをクリックすると〈取寄申込〉の画面に移りますのでそこで利用者 ID を入力してください(学生証の学生番号を入力してください。教職員は職員番号の前にスペースを入れ、スペースを含め7桁の番号を入力してください)。なお、図書館ホームページ上にある WWW 版目録検索からは「取寄」できません。

いつ届くの？

→資料の受け渡しは、「取寄」依頼した日の翌日以降となります。館内の掲示板に「通知」を掲示しますので、それを持ってカウンターに来てください。なお、「取寄」保管期限は1週間です。保管期限を過ぎるとキャンセルされます。

(閲覧・参考係／教育研究支援係)

資料紹介

南山大学瀬戸図書館では、20誌以上の新聞を購入していますが、今回はその中でも特色のある海外の新聞を紹介します。

中国時報
(台湾)

朝鮮日報
(韓国)

Malaya
(フィリピン)

Nhân Dân
(ベトナム)

Matichon
(タイ)

Utusan Malaysia
(マレーシア)

南山大学総合政策学部の外国語科目（選択科目）のひとつに『短期アジア留学プログラム』があります。ここで紹介する新聞は、このプログラムの提携校があるアジア各国の言葉や政治・経済・文化諸事情を知る上で重要な資料となります。

また、南山大学に来ている各国からの留学生の方にも、母国の様子を知るための手助けになると思います。もちろん、このプログラムに参加しない方や留学生以外の方も利用できますので、アジアの国々に興味がある方や旅行に行かれる方など是非一度ご覧ください。



●利用について

配架場所：南山大学瀬戸図書館 B1F ブラウジングコーナー、新聞コーナー

利用方法：閲覧のみ（名古屋キャンパスからの「取寄」は不可。直接来館してください。）

保存期間：製本保存するもの…★ 1年保存のもの…☆ 但し今後変更される可能性あり

中国時報 (China Times) ☆

台湾 (Taiwan)

言語：中国語 発行地：台北 創刊：1970年 刊行頻度：日刊

台湾の2大系列新聞社の1つである中国時報社が発行しており、自由主義的編集方針で広い購読層を持っている。

朝鮮日報 (チョソンイルボ) ☆

大韓民国 (Republic of Korea)

言語：朝鮮語 発行地：ソウル 創刊：1920年 刊行頻度：日刊

「三・一独立運動」の翌年に創刊された韓国最古の日刊紙で、韓国を代表する全国紙。民族主義に基盤を置き、バランス感覚と堅実な紙面構成で固定読者が多い。

Malaya (マラヤ：自由) ☆

フィリピン (Republic of the Philippines)

言語：英語 発行地：マニラ 創刊：1981年 刊行頻度：日刊

非政府系新聞。一般紙。開発・経済問題や国内の宗教摩擦からセクシュアル・ハラスメントまでとりあげている。

Nhân Dân (ニャンザン 人民) ☆ ベトナム社会主義共和国 (Socialist Republic of Viet Nam)

言語：ベトナム語 発行地：ハノイ 創刊：1951年 刊行頻度：日刊

ベトナム共産党中央機関紙であるため、党機関紙としての性格から政治記事の比重が高いが、グローバルな紙面構成という点では評価が高い。

Maticchon (マティチョン：国民の願い 民の声) ☆ タイ王国 (Kingdom of Thailand)

言語：タイ語 発行地：バンコク 創刊：1978年 刊行頻度：日刊

高級紙と大衆紙の中間に位置し、野党的正確の強い新聞。政治関係のニュースや論評が多く、きわもの的なニュースはとりあげないところから読者の人気を得ている。

Utusan Malaysia (マレーシアだより) ☆ マレーシア (Malaysia)

言語：マレーシア語 発行地：クアラルンプール 創刊：1965年 刊行頻度：日刊

この新聞はウツサン・ムラユ・グループ傘下であり、UMNO (統一マレー国民組織) の主張を反映するといわれる。

— その他 瀬戸図書館で購入している外国語の新聞 —**<英語>**

The Japan Times	☆発行地：日本 総合ニュース 日刊
Mainichi Daily News	☆発行地：日本 総合ニュース 日刊
The Nikkei Weekly	★発行地：日本 経済ニュース 週刊
The Wall Street Journal	★発行地：米国 Eastern ed. 経済ニュース 日刊
The Asian Wall Street Journal	★発行地：香港：日本 経済ニュース 日刊
週刊 ST	☆発行地：日本 日本語対訳付き 英語学習用 週刊

<中国語>

中国青年報	☆発行地：北京 中国共産主義青年団中央委員会発行 週4回刊
週刊中国語世界	★発行地：日本 日本語対訳付き 中国語学習用 週刊

<フランス語>

Libération	☆発行地：フランス 比較的若い世代を読者としている 日刊
------------	------------------------------

<スペイン語>

Excelsior	☆発行地：メキシコ Sunday ed. メキシコ最大の日刊紙
International Press	☆発行地：日本 スペイン語系在日外国人向 週刊

参考文献：多文化社会図書館サービスのための世界の新聞ガイド／むすびめの会編
日本図書館協会，1995.

(Akira TSUCHIYA：瀬戸図書館 土屋 玲)

2000 秋期・図書館利用講習会のお知らせ

春に引き続き、図書館の上手な使い方や資料の探し方などを説明する利用講習会を開催します。これからやってくるレポートで一步リードしたい人、卒業論文でもう一步踏み込んだ情報を手に入れたい人など奮ってお申し込みください！！

期 日 10～11月の平日のうち、御希望の日。詳細は申込時にて相談。

コース ★初級…ツアー方式で図書館内の資料の配置や利用方法を案内。
☆中級…卒業論文やレポートの作成などに役立つ文献・資料の探し方の解説。

所要時間 約60分

申込方法 所属するキャンパスの図書館レファレンス・カウンターにて。受講希望日の1週間前まで受付。

★役に立つ情報が満載。受けて良かったと思うこと請け合いデス！！★

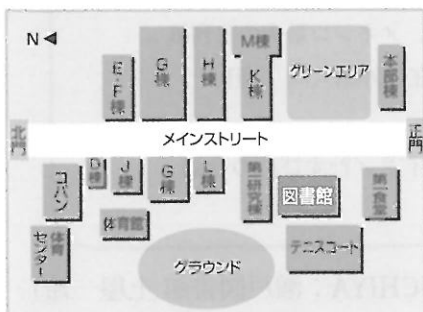
図書館での飲食・雑談・携帯電話 どんな気がする？

図書館を静かな場所に見ませんか。

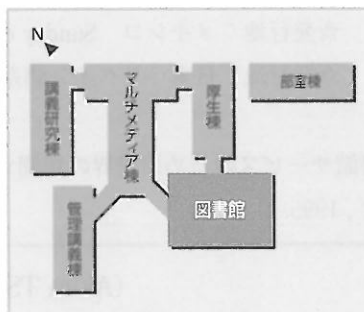
2000年図書館内マナー向上プロジェクト

《編集後記》

社会人となり半年、右も左も分からないままに編集させて頂きました。さて、出来はどうでしょう。(共)



<名古屋キャンパス>



<瀬戸キャンパス>

南山大学図書館報 デュナミス No.38

2000. 10. 1 発行

<http://www.nanzan-u.ac.jp/TOSHOKAN/>

発行：南山大学図書館 広報委員会

編集委員：石田、共田

印刷：一誠社

〒466-8673 名古屋市昭和区山里町18

Tel: 052(832)3707/Fax(G3):052(833)6986